

| 授業科目名 | フィジカルアセスメント | | | 担当教員 | 小手川 良江、 隈井 寛子、鬼丸 美紀 |
|----------------------|--|----------|--|----------|------------------------|
| 開講年次 | 1年後期 | セメスター | 2 | 時間数(単位数) | 45 (2) |
| 必修選択 | 必修 | 授業形態 | 演習 | 使用教室 | |
| 授業の目的 | 看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診察技法を身につける。 | | | | |
| 到達目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる 2. フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる 3. 得られた情報から対象者の状態を判断することができる 4. 看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる | | | | |
| ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ | フィジカルアセスメントでは基本的診察技法を学び、基本的診察技法を用いて得られた結果について、看護の視点から患者の身体面をアセスメントする。看護の視点からアセスメントすることは、看護師としての基礎的能力である看護の専門性を探究する力を養うことにつながる。また、看護技術を身につけるためには、主体的な学びが必要であり自己教育力の基礎が養われる。 | | | | |
| ディプロマポリシーとの関連 | 人間の尊厳と権利を擁護する力 | 自己教育力 | チームで働く力 | 問題解決力 | 看護の専門性を探究する力 |
| | | ○ | | | ◎ |
| 授業計画 | | | | | |
| 回 | 授業内容 | 授業方法 | 学修課題 (予習・復習) | 取組時間 | 担当者 |
| 1 | フィジカルアセスメントの意義 基本的な診察法 全身の概要 | 講義 演習 | 予習：臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分 テキスト1)p74-86を熟読する | 60分 | 小手川 |
| 2 | | | | | |
| 3 | 一般状態と生命徴候 | 講義 演習 | 予習：循環器系、呼吸器系の構造と機能 テキスト1)p86-107,2) p 28-29,43-55 を熟読する | 90分 | 隈井 |
| 4 | | | | | |
| 5 | 生命を維持する1：循環器系 | 講義 演習 | 予習：テキスト1)p135-143,2) p 56-80 を熟読する DVDの視聴、技術練習 | 90分 | 隈井 |
| 6 | | | | | |
| 7 | 生命を維持する2：呼吸器系 | 講義 演習 | 予習：テキスト1)p124-132,2) p 81-101 を熟読する DVDの視聴、技術練習 | 90分 | 隈井 |
| 8 | | | | | |
| 9 | 技術まとめ1：血圧測定 | 演習 | 復習：血圧測定の練習 | 90分 | 隈井 |
| 10 | 技術試験1：血圧測定 | 演習 | 復習：血圧測定の練習 | 90分 | 隈井 |
| 11 | 食べる・栄養を取り込む、排せつする：消化器系 技術試験1のフィードバック | 講義 演習 | 予習：消化器系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト1)p152-159,2)p176-206を熟読する 復習：消化器系の技術について練習 | 90分 | 鬼丸 |
| 12 | | | | | |
| 13 | 技術試験2：消化器系 | 演習 | 復習：消化器系の技術について練習 | 60分 | 鬼丸 |
| 14 | 技術まとめ2：消化器系 技術試験2のフィードバック | 演習 | 復習：消化器系の技術について練習 | 90分 | 小手川 鬼丸 |

| | | | | | |
|----------|--|---------|--|-----|-----------|
| 15 | 総合演習：模擬患者への実施 | 演習 (AL) | 復習：消化器系の技術について練習 | 90分 | 小手川 |
| 16 | 技術まとめ3：総合演習フィードバック | 演習 (GW) | 復習：総合演習の課題に取り組む | 60分 | 小手川 |
| 17 | 身体を守る：皮膚・頭髪・リンパ節・甲状腺 | 講義演習 | 予習：皮膚などの構造や機能 テキスト1)162-175を熟読する | 90分 | 小手川 鬼丸 |
| 18 | | | | | |
| 19 | 身体を動かす：筋・骨格系 見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる、話す：神経系 | 講義演習 | 予習：筋骨格系、神経系の構造と機能 DVDの視聴、技術練習 テキスト1)p162-168,p171-192, 2)p102-131,p132 - 161を熟読する | 90分 | 鬼丸 |
| 20 | | | | | |
| 21 | 技術まとめ4：呼吸器系、循環器系 | 演習 | 予習：呼吸器系、循環器系の技術について練習 | 90分 | 隈井 |
| 22 | | | | | |
| 23 | 看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ 定期試験フィードバック | 講義演習 | 復習：フィジカルアセスメントで学習した内容について フィードバック：フィジカルアセスメントで学習した内容について定期試験をもとに確認する | 60分 | 小手川 |
| 先行履修科目 | | | | | |
| テキスト | テキスト1) 茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学〔2〕基礎看護技術 I 17版. 医学書院, 2015. テキスト2) 守田美奈子 監修：写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ, 2016. | | | | |
| 参考文献 | 山内豊明 監修：山内豊明教授のフィジカルアセスメント全巻. ビデオ・パック・ニッポン / 京都科学, 2006. 山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック—目と手と耳でここまでわかる. 医学書院, 2011. 山内豊明：フィジカルアセスメントワークブック. 医学書院, 2014. Gerard J. Totoro, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (10 th). 2014, 佐伯 由香, 細谷 安彦, 高橋 研一, 桑木 共之 編訳：トートラ人体解剖生理学 (原著 10版). 丸善出版, 2017 Barbara L. Herlihy : The Human Body in Health & Illness 5e. 2013, 坂井建雄, 大久保暢子訳：ヒューマンボディ原著第5版. エルゼビア社, 2017. 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明 監修：ベイツ診察法 第2版. メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015. Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017 | | | | |
| 評価方法 | 定期試験 70%、演習参加度 15%、技術試験 15% | | | | |
| 教員等の実務経験 | 様々な分野における臨床経験を有する教員が、臨床で活かせるフィジカルアセスメントの基礎について講義演習を行う。 | | | | |
| メッセージ | フィジカルアセスメントは、2年生で学ぶ看護過程や看護過程の展開実習につながる重要な科目です。また、人体の構造と機能、疾病と治療などの科目で学んだ知識を基礎にしてフィジカルアセスメントを行います。そのため、演習の前には、人体の構造と機能、疾病と治療、フィジカルアセスメントの方法を中心に予習を行ってください。演習後には、不足した知識の復習や技術練習に取り組んでください。看護技術は、演習の中だけで身につけることはできません。演習の予習復習が重要になります。予習・演習・復習を繰り返すことで、看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけてください。 | | | | |